

# 校長のつぶやき II

校長室便り 第11号

令和2年6月4日 山内



## ○授業再開 ー全校集会 嶺岸教頭魂への呼びかけー

第9号でお知らせしたとおり、6月1日の昼休みに昼食を野球グラウンド近くの階段でとり、ゴミをそのままにしていた者が複数いました。特にこのウイルスは飲食を伴う時に感染が報告されています。命を守る行動です。決められた時間に決められた自分の席で昼食をとってくださいという朝の矢内先生の呼びかけの後でした。

次の日、朝から1時間目全校集会は密の関係でできませんので、学年ごと体育館で嶺岸教頭先生から「命を守る行動」「ルールを守る行動」「守ってくれた大多数の岩高生への感謝」等について一人一人の岩高生の魂を揺さぶるような呼びかけ、授業がありました。ゴミを捨てていった犯人を捜したり、とがめたりすることもなく、岩高生なら分かってくれるという語り調に岩高生245名は全員真剣に聞いてくれました。貴重な授業1時間分に相当するものでした。今日、4日(木)売店前のアルコール消毒液がまきちらかされるということがありました。校長室に報告に来てくれた嶺岸教頭先生は怒りを乗り越えて少し寂しそうでした。お昼休み時間に矢内先生から放送で呼びかけがあったのはそのことです。改めてください。改めないことを本当の意味で過ちと言います。ー「過ちて改めざる、これを過ちという」論語衛霊公ー 自粛明けの開放感もありますが、マスクをしていなかったり、検温をしていなかったり、岩高・いやこの地域は危機意識が低く、平和ぼけしているのかもしれない。仙台の学校ではマスクをしてない生徒はゼロ、検温し忘れなど論外だそうです。14ヶ月前、岩高に来て最初の集会で講話のためステージに立った時、体育館ギャラリーにおいて大声で叫びながら遊ぶ生徒がいたときが懐かしいくらい、岩高は別の学校のような「安全で安心な高校」になりました。しかしこのままでは、また逆戻り。学校再開早々、岐路に立たされているのかもしれない。私は嶺岸教頭先生の魂への問いかけをしっかりと守ってくれる岩高生であること、矢内先生の優しさにしっかりと応えてくれる岩高生であることを信じています。改めて下さい。ただ、もうこれ以上先生方の手を煩わせる場合は仕方ないですね。

## ○授業再開 ー授業の工夫 T・T や ICTー

毎日、少しずつでも授業を見学しに教室やグラウンドを回っています。1時間目、河崎先生のグラウンドでソフトボールの3年生体育は活気がありました。1年生の数学は三宮先生と木村先生二人による(T・T)チームティーチング、欠席もなく真剣に聞き入っていました。岩淵先生の3年生日本史はICT型授業、面白くて思わずしばらく見学させてもらいました。今年はコロナの影響で夏休みも返上して授業を行います。量だけではカバーできませんので、質の部分つまりポイントをしばった授業が求められています。その点からか岩淵先生の授業は重点箇所順位にチョークが色分けされていたり、スライドには登場人物の肖像画が映し出され、現代の人物像にかけながら等わかりやすい授業でした。肖像画等は人間の想像力を奪う危険性もありますが、コロナ禍の授業では仕方ないですね。ですからこのカットの写真は掲載しません。ではこれで今回のつぶやきはこれでお終いです。